

教育	
2023年4月～2024年3月	
教育方針	保育実践を「みる」力の育成
授業	<p>授業の工夫</p> <p>子どもの何気ない動きや言葉から子どもの思いを考察する、保育者の言葉や動きから援助の意図を読み取る等、客観的に保育を「みる」力の育成に取り組むため、2023年度より授業内容の大幅な見直しと変更を行った。</p> <p><保育課程特論></p> <p>昨年度までグループで指導案を作成し模擬保育を実践することを授業の主軸としていたが、今年度は保育の観察と記録、振り返りを主軸とした授業に変更した。系列幼稚園の協力を得て、子どもが遊んでいる場面の非参与観察を計2回実施、観察毎に各自が観察記録を作成し、グループワークを行った。1回目観察後は、子どもの動きや言葉、表情から“子どもが何を楽しんでいたか”“そのように感じた根拠は何か”について話し合いを行い、2回目観察の際の工夫点を整理した。2回目観察後は、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の視点から子どもの育ちについて話し合い、模造紙に整理してグループごとに発表を行った。観察後の振り返りを丁寧に行ったことで、1回目の観察記録より2回目の方が子どもの遊びや保育者の援助の意図をより深くとらえた記述が増え、学生自身の観察の意図や読み取りの根拠が明確に記述されるなどの変化が見られた。授業評価アンケートでは、「子どもや保育全体を捉える視点が新たに得られた」等のコメントが複数見られ、全項目で高評価だったことから今後も継続して行っていきたい。</p>
	<p>授業改善のための取組</p> <p>授業後のレスポンスシートを丁寧に確認し、要望等あった場合は随時対応している。また授業冒頭でレスポンスシートの感想・質問を紹介し、授業内容に反映させる等、学生と教員の双方向型のコミュニケーションが図れるよう取り組んだ。また、前年度の授業評価アンケートや定期試験・レポートの成績状況を整理し、理解度や満足度の低い点については随時見直しを行っている。今年度に関しては、授業内容の大幅な変更に伴い、学生への趣旨説明方法等に改善の余地がみられたため、来年度はより丁寧な説明を行っていきたい。</p>

教育 (つづき)		
2023年4月～2024年3月 (つづき)		
ゼミ	ゼミ活動 (卒業演習) (修了研究)	<p><卒業演習></p> <p>子どもでもできるアイスブレイク・コミュニケーションゲームを実施することで、保育・教育の一実践例を紹介すると共に、学生同士のコミュニケーション促進を図った。</p> <p>卒業レポートについては「10の疑問」のワークシートを作成することで、学生一人一人が自身の興味関心の分野を自己認識できるようにした。また、「研究計画」ワークシートを作成し、研究テーマの目的や具体的な内容、研究方法等、学生自身で計画的に研究を進められるように指導した。個別の指導を中心に行うことで一人一人の状況に応じた支援に努め、定期的に全体中間報告会を行うことで学生同士のコミュニケーションも取れるようにした。ゼミ内発表会では、学生の司会進行のもと、ゼミ生全員がPowerPointによるプレゼンテーションを行った。</p>
	卒業レポート・ 修了研究テーマ	<p><2023年度 卒業レポートテーマ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい関係と恋愛について ・聴覚障害者と健聴者を繋ぐコミュニケーションー共生できる社会を実現するためにー ・血液型別の性格特徴の認識の仕方について ・多様なメディアから得られるうつ病の情報ーうつ病の患者との関わりとその予防とはー ・スウェーデンの保育についてー保育制度と保育の取り組みー ・マスク着用が義務化ではなくなった現状ーマスク着用の有無による印象の違いはあるのかー ・なぜ保育施設ではごっこ遊びがたくさん行われているのかー新型コロナウイルス前と後のごっこ遊びの変化ー ・子どもの名付けに込められた想いや願いについてー名前ランキングの移り変わりー ・モンテッソーリ教育がその後の人生に与える影響ーどのような経験や体験が生き方を支える力になるのかー ・男性保育者の保育現場での関わりー男性保育者とのグループインタビューを通してー
課外活動	—	
2023年3月以前		
主な教育業績	—	

研究		
2023年4月～2024年3月		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（著書） めばえ幼稚園の保育実践－幼児たちの自ら共に生き抜く力を育む場として－ （共著）	2023年 5月	ななみ書房
（その他：研究発表） 私立幼稚園における教育方針・理念、教育方法に関する調査 －山梨県内私立幼稚園 Web サイト・SNS の分析から－ （単独）	2023年 5月	日本保育学会第76回大会
（学術論文） ごっこ遊びの萌芽期を支える保育者の援助－2・3歳児クラスの保育実践事例から－ （共著）	2024年 3月	日本女子大学大学院紀要 第30号
（学術論文） ごっこ遊びの深まりを支える保育者の援助Ⅱ－ごっこ遊び事例を5つの視点から考える－ （筆頭・共著）	2024年 3月	日本女子大学大学院紀要 第30号
2023年3月以前（主なもの）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文） 幼稚園・保育所・認定こども園に対して学生が持つイメージ －保育科1年生を対象としたアンケート調査を通して－ （単著）	2023年 3月	山梨学院短期大学研究紀要 第43巻
（学術論文） ごっこ遊びの深まりを支える保育者の援助－2・3歳児クラスの事例から－ （筆頭・共著）	2023年 3月	日本女子大学大学院紀要 第29号
（学術論文） 「ごっこ遊び」研究の傾向 －保育実践を対象とした調査に着目して－ （共著）	2022年 3月	日本女子大学紀要 第69号

研究（つづき）		
2023年3月以前（主なもの）（つづき）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（学術論文） 自然との関わりに見る「幼児期にふさわしい生活」－自然を生かした保育を实践する保育者の語りを通して－ （共著）	2021年 3月	日本女子大学大学院紀要 第27号
（学術論文） 三法令改訂を保育者はどのように受け止めたか－管理職への聞き取りから－ （共著）	2020年 3月	日本女子大学家政学部紀要 第67号
（学術論文） 幼稚園教育要領改訂ともなう幼稚園の変化－研究動向と今後の課題－ （共著）	2019年 3月	日本女子大学家政学部紀要 第66号
（学術論文） 幼稚園教育要領改訂とこれからの幼児教育 （単著）	2018年 3月	日本女子大学院紀要 第24号
（学術論文） 遊びを支える保育者の援助とは何か－幼稚園年長児における総合的な造形活動を通して－（修士論文） （単著）	2018年 3月	日本女子大学家政学研究科児童学専攻
（学術論文） 幼児に“まかせる”保育とは？－幼稚園年長児のフィールド観察を通して－ （単著）	2017年	子どもロジー VOL.21
（その他：研究発表） 幼稚園年長児の造形遊びに対する保育者の援助（2） （単独）	2018年 5月	第71回 日本保育学会
（その他：研究発表） 幼稚園年長児の造形遊びに対する保育者の援助（1）－総合的な活動としての「インディアン祭り」の事例を通して－ （単独）	2017年 5月	第70回 日本保育学会

社会貢献
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等
2023年4月～2024年3月
<ul style="list-style-type: none"> ・山梨県立日川高等学校 連携事業 講師 (2023年度) ・中学生向けオープンキャンパス体験講座 講師 (2023年度) ・FM甲府の子育て支援番組 出演 (2023年度) ・山梨県立塩山高等学校 連携事業 講師 (2023年度)
2023年3月以前 (主なもの)
<ul style="list-style-type: none"> ・山梨学院短期大学免許法認定講習 保育内容特論 (人間関係) 講師 (2022年度) ・やまなし保育士・保育所支援センター(山梨県社会福祉協議会内)「令和4年度『保育のお仕事』就職・復職応援 Web セミナー」 講師 (2022年度) ・保育活動におけるリスク・コミュニケーション研修 講師 (2022年度) ・山梨県立塩山高等学校 連携事業 講師 (2022年度) ・山梨英和高等学校 連携事業 講師 (2021年度) ・日本保育者養成教育学会第6回研究大会 実行委員 (2021年度)
受賞 ※個人、所属団体
—